

指標案委員意見一覧《コミュニティ・産業・文化分野》

分野(中項目)	指標名	設定理由	委員名
地域コミュニティ	町会・自治会の女性役員の割合	地域コミュニティの活性化を図るために女性の役員を増やす。 町会・自治会の次世代を担う人材の育成と、いざという時のために地域の一体感を高めておくために女性の力が必要である。	岡田委員
	区内転入予定時に自治会加入義務について、文京区と初めて出会う不動産業者からの説明実施件数と転入届け提出の際の所属自治会承諾件数	以前転勤により住んでいた静岡県駿東郡(すんとうぐん)と言う町は、物件契約の際に不動産会社の方から所属の自治会と自治会費の納入と説明を受けました。転入前の説明により自治会加入がスムーズになり、町作りも盛んになると考えたため。	上野委員
	自治会活動の開催数と参加人数、一番活動している素晴らしい自治会の表彰	避難訓練や夏祭りなどの自治会活動回数を数値化し、多く活動している素晴らしい自治会を表彰することで、住民の自治会への関心が高まると考えたため。	上野委員
	ふれあいサロンでの講習により育成、就職された人の数	これからの少子高齢化に伴う、就労人口の減少、また負担の多い子育て世代のゆとりとこれからのために母親の再就職を主に支援することが、これからの社会において必要と考えたため。 (行政支援のサポート人材の育成・盲人介護者など)	上野委員
	男女平等参画に関するセミナーの参加者数や相談件数	男女が平等な立場で地域コミュニティに参加することは大切なことで、その状況を把握するには適した指標であると考えます。	小林(博)委員
		(2つの指標は継続)	小林(博)委員
	町会・自治会長に対する指導強化	町会長業務を仕方なく行っている町会もあるように見受けられるため。	島田委員

分野(中項目)	指標名	設定理由	委員名
産業振興	起業家の活動スペースの開拓数と新規事業の開拓数	技能を持っている高齢の方や商店街などで経営のノウハウを持っている方と起業したい若い方や主婦の方をマッチングさせることで、新たな産業が、文京区から生まれると考えたため。	上野委員
	買い物支援者と利用者の数	高齢になって大変になるのは、毎日の買い物であるため、商店街と高齢家庭を結ぶ事業を展開することで、地域コミュニティーの活性にもなり、商店街もニーズを絞った仕入れをすることで、活性すると考えたため。(文京区商店街の合弁会社などの創設も提案します)	上野委員
	独自性を持った商店街の創設カ所数	以前テレビで、根津や千駄木周辺のお寺や町並みが魅力的だという事で、外国人観光客が多く訪れているようで、商店街の独自性を出し宣伝を進めることで、新たな展が期待できると考えたため。	上野委員
	「食の京」など文京区内のお店の宣伝回数	役所内の食堂での期間限定販売や試食などで、まず区役所の方々に知って頂き宣伝してもらおう考えのため。私の所属の私立幼稚園PTA連合会では、年度末に役員の方にお礼の品として区内の和菓子屋の紹介も兼ねたお菓子が選ばれます。区内は意外に広いので生活圏外のおみせは、なかなか出会えないとのことで、毎回好評です。	上野委員
	イノベーション創出協議会からの提言をふまえた取組み状況	イノベーション創出協議会からの提言をふまえ、文京区の創業支援施設の創設や地場産業と大学との産学連携の取組み状況を把握する必要がある。	小林(博)委員
	産業情報ネットワーク事業によるホームページのアクセス数	企業や商店の情報を消費者に提供する手段としてのホームページの活用は有効である。区民のニーズに応じた買い物ができるようにするために、この指標は活かされると考える。	小林(博)委員
		(3つの指標は継続)	小林(博)委員
	制度融資を継続	商店街・中小企業に対する融資をこれからも続けて欲しい。	島田委員

分野(中項目)	指標名	設定理由	委員名
生涯学習	図書館の貸し出しによる利用者数	さまざまな学習資料を確保している図書館の利用は有効である。図書館が地域の情報収集・発信の拠点としての機能が充実しているかを把握する指標として適していると考ええる。	小林 (博) 委員
		(2つの指標は継続)	小林 (博) 委員
文化振興	芸術や文化(区内に多くある寺院なども)のギャラリーツアーの開催数と案内人育成人数	区民だけでなく近隣の幼小中高大学生から大人、国内外の観光客など多くの方に文京区の文化遺産を活用してもらうために、ツアーの企画だけでなく、ツアーの案内人を育成することで、文の京の象徴となる活動になりうると考えたため。	上野委員
	指標の対象をシックホールだけでなく、鷗外記念館などの区施設やイベントにも拡大すべきでは?	区内にはいくつも文化施設があり、図書館などでも様々な文化活動を行っている。そうしたものを指標に入れた方が区民の生活実態に合うのではないか。	小林 (省) 委員
	森鷗外記念館の利用者数	森鷗外に関する貴重な価値のある文化人としての資料を多くの区民に知ってもらう必要がある。文化振興の状況を把握することができるひとつの指標であると考え、	小林 (博) 委員
		(2つの指標は継続)	小林 (博) 委員
スポーツ振興	ホームページによる情報提供のアクセス数	スポーツ施設や指導者の状況、各種目の大会やイベントなどの情報をスポーツに親しもうとする区民に提供する手段としてのホームページの活用は有効である。区民のスポーツに関する意欲やスポーツ振興の状況を把握する指標として適していると考え、	小林 (博) 委員
		(3つの指標は継続)	小林 (博) 委員
	何時でもどこでも誰もが楽しめる環境	健常者のみならず、高齢者・障害者も気軽にスポーツを楽しむ環境整備が不可欠と考えられる為。	小西委員

分野(中項目)	指標名	設定理由	委員名
観光	観光資源の発掘数と案内ガイドの育成人数(外国人観光客に対応したり語学勉強にも役立つ外国語もできる案内人も)	区内に多く点在する寺院や文化施設、多くある坂の歴史や観光資源のガイドを区民の方に行っていただくことで、身近に良い町を感じてもらい、商店街のおいしい食べ物のお店の紹介もツアー内に組込むことで、大きい経済効果も期待できると考えたため。	上野委員
	文京ゆかりの文人銘菓の売り上げ数	観光振興を進める上で「食べる」の魅力は重要なひとつである。この指標をひとつのモデルとして、観光資源の開発状況を把握することができると思う。	小林(博)委員
	観光ガイドの人数と活用数	区民に観光を楽しんでもらったり理解してもらったりするには、観光ガイドによる案内が有効である。区民が文京区への関心と理解を深めようとする意欲を把握するには、適した指標であると思う。	小林(博)委員
		(2つの指標は継続)	小林(博)委員
交流	区民の認知度でなく、実際の活動を指標とすべき	認知度、つまり知っていることは文化の推進とは直接結びつかないのではないか。	小林(省)委員
		(2つの指標は継続)	小林(博)委員